

2025.2.15

# ギカイ の ひろば

## ◆CONTENTS

「ミズカール」誰もが使いやすい備品か、  
議員がチェック ▶P4

町政を問う一般質問  
～議員14人から一般質問22件～ ▶P6～P12

議会モニターを募集します ▶P15



特集

## 瑞穂町 明るい選挙推進委員 & 選挙管理委員会



# 選挙を支える人たち

特集

## 明るい選挙推進委員

地域のイベントなどに参加して選挙についてまた、自ら立会人も務めます。公平で信頼でき町では27名の方が活躍しています。今回、

の情報を住民に広めたり、投票所の立会人を探したり、る選挙の実現に向けて、地域で活動している方々です。6名の方にお話を伺いました。



岩男さん

小学生と中学生の子どもがいるので、このまま続けて「二十歳を祝う会」に推進委員として関わられたら嬉しいかな。



宮寺さん

選挙の仕組みが分かりました。地域に貢献できている気がします。多くの方に投票に来てほしいですね。特に若い人。



山田さん

子どもの頃から知っている子が大人になって選挙に来たのを見て成長を感じました。



鳥山さん

20代の投票率が低いので…若い方の政治参加がとても必要ではないかと感じています。



高橋さん

これまで以上に選挙に興味がありました。ただ、立会人の立会い時間が長いのが…(笑)



小川さん

委員になって20年になります。知り合いがたくさんできました。

## 瑞穂町 明るい選挙 推進委員 & 選挙管理委員会

皆さんの一票が、私たちの日々の暮らしや未来への希望につながります。そんな大切な選挙が正しく公平に行われるように、多くの方が支えてくれています。



令和5年度 明るい選挙推進協議会



箱根ヶ崎駅自由通路の期日前投票所



令和6年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール事業の全国審査で入賞した、三小の栗原彩羽さんが作製した作品

### 選挙啓発活動中の様子



令和5年4月2日に開催された春のみずほマルシェ



第15回 残堀川ふれあいイベント



第51回 瑞穂町産業まつり



令和7年 二十歳を祝う会

## 選挙管理委員会

選挙管理委員会 古川 委員長



4人の委員で構成され、町議会議員および町長の選挙に関する事務を管理するほか、国政選挙をはじめ、すべての選挙について投開票事務を行うとともに、法令によりその他の選挙に関する事務を行っています。

瑞穂町の職員がさまざまな事務手続きなど、事務局職員として選挙管理委員会のサポートをしています。

気楽に投票所に来てください。誰でも安心して投票できるようにしています。お子さん連れでも大歓迎です。



選挙管理委員会をサポートしている選挙管理委員会事務局



令和7年1月に開催された選挙管理委員会の様子

令和6年第4回瑞穂町議会定例会議案

全会一致で可決（承認・当選）された議案等

議案第	93号	専決処分の承認について（令和6年度瑞穂町一般会計補正予算（第8号））
議案第	94号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例
議案第	95号	瑞穂町手数料条例の一部を改正する条例
議案第	96号	瑞穂町地域包括支援センターの運営及び職員に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第	97号	多世代交流センター備品及び什器購入契約について <b>pick up1</b>
議案第	98号	箱根ヶ崎駅自転車等駐留場及び箱根ヶ崎駅東西自由通路の指定管理者の指定について
議案第	99号	瑞穂町ふれあいセンターの指定管理者の指定について
議案第	100号	瑞穂町福祉作業所の指定管理者の指定について
議案第	101号	令和6年度瑞穂町一般会計補正予算（第9号） <b>pick up2</b>
議案第	102号	令和6年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第	103号	令和6年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第	104号	令和6年度瑞穂町下水道事業会計補正予算（第2号）
議案第	105号	瑞穂町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第	106号	瑞穂町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
議案第	107号	瑞穂町の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第	108号	瑞穂町教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例
議案第	109号	瑞穂町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第	110号	令和6年度瑞穂町一般会計補正予算（第10号）
—		瑞穂町選挙管理委員の選挙
—		瑞穂町選挙管理委員補充員の選挙

**pick up2**

議案第101号 令和6年度瑞穂町一般会計補正予算（第9号）

倒木の危険。伐採費と処分費を計上

- Q 公園管理委託料として439万1,000円が追加されているが内容は。
- A 狭山池緑地、さやま花多来里の郷のコナラの木約30本が立ち枯れやナラ枯れを起こし、倒木の危険があるので伐採費と処分費を計上した。

難聴者への窓口対応の充実を評価

- Q 軟骨伝導イヤホン購入費として6万4,000円計上しているが台数と設置場所は。
- A 2セット購入予定。高齢者福祉課と住民課の窓口各1台を設置する予定。



高齢者福祉課に設置された軟骨伝導イヤホン

軟骨伝導イヤホン…耳の軟骨を振動させて音を伝えるイヤホンで、耳に軽く当てるだけで小さな声でもはっきりと聞こえる。

**pick up1**

議案第97号 多世代交流センター備品及び什器購入契約について

誰もが使いやすい備品か、議員がチェック

工事中の多世代交流センター「MIZCUL」(元高齢者福祉センター「寿楽」)に椅子、机、ソファ、棚、ロッカーなど76品目、総数466個の什器を購入する契約について審議しました。

- Q 地元の業者からの購入は検討しなかったのか。
- A 町内業者の選定は当然考えたが、営業種目や什器、家具について該当する業者が見当たらなかった。

契約方法	指名競争入札
契約相手	株式会社コイヌマ(立川市)
契約金額	2,255万円(落札比率97.36%)
納期	令和7年3月28日



■品名：学童座卓  
■設置場所：1階学童保育室



■品名：学童クッション  
■設置場所：1階学童保育室

- Q 学童保育クラブの部屋のテーブルが座卓になっているが。
- A 学校での授業の延長線ではなく、自宅にいるような雰囲気であることを意識した。また、机などの移動が容易となり、限られたスペースを有効に活用できる点なども考慮した。



■品名：4人掛けソファ  
■設置場所：2階ラウンジ、パブリックスペース



■品名：椅子  
■設置場所：2階ラウンジ



■品名：2人掛けソファ  
■設置場所：2階ラウンジ



■品名：ローテーブル  
■設置場所：2階ラウンジ

- Q ユニバーサルデザインへの配慮はされているか。
- A 購入したものはすべてユニバーサルデザインに配慮されている。視覚への配慮もしているが、利用者からの声があれば指定管理者と相談し対応していきたい。

※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。





**原 隆夫 議員 (公明党)**  
**健全なクラス・学校運営の  
 ために人的支援の充実を**  
**教育長 国や都の補助事業を探りながら、  
 充実を図る**



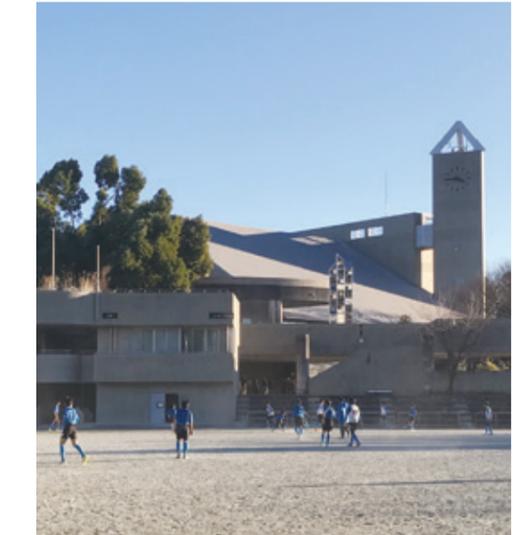
町内小学校の学習発表会

**質問** 小学校4・5年生の学習規律が乱れている学校があると聞く。学習サポーター制度は学習規律の確立を目的として始まり、町立小学校の1・2年生全学年などに配置され好評であった。しかし、基

金の終了で廃止となり、クラスサポータースタッフが新たに導入され、各校1〜3学年に2名の配置となった。学習規律が守られ健全なクラス・学校運営のために更なる人的支援の充実が望まれるが、現状と今後の取り組みを伺う。  
**教育長** 当該校では、町の会計年度任用職員を活用しながら、関係機関と連携し、子どもたちが安心して学べる環境や指導体制を整えるよう努めている。また、

**教育長** スカイホールは維持管理と事業収入との乖離がたびたび議論され、現在に至っている。令和3年度に運

**質問** 平成13年6月と12月議会の一般質問においてスカイホールの活用促進について質問したが、それ以来、特に進展もなく現在に至っている。平成29年9月に完成してから34年が経過し、法定耐用年数も折り返し地点を過ぎた。指定管理者制度等を活用して有効活用を考えるべきであり、駐車場や多目的広場の確保のためにグラウンドをモノレール(仮称)No.6駅付近に移設してスポーツを促進し、来町者の増に努めるべきでは。所見を伺う。



瑞穂ビューパーク競技場とスカイホール

**教育長** 児童・生徒数の推計および建築年数を考慮し調査研究を進めていきたい。

**榎本 義輝 議員 (自民誠和会)**  
**スカイホールの活用と  
 グラウンドの移設を**  
**教育長 令和3年度に直営で行う旨を決定している**



**質問** 後のことも考えなくてはならない時期が遠からず来るものと思う。

**下澤 章夫 議員 (自民誠和会)**  
**地域コミュニティ創りに  
 ついて**



**町長** 地縁団体の在り方を模索  
**質問** 超少子高齢化、人口減少、価値観の多様化、生活様式の変化などにより、町内会・自治会加入率の低下や担い手不足など、地域コミュニティを取り巻く課題は山積し、厳しい状況にある。瑞穂町多世代交流センターでの多世代交流・居場所づくり事業は、地域コミュニティ創りの新たな施策として期待できるが、協議会型住民自治組織の導入、地域担当職員の配置など、今後を見据えた地域コミュニティ創りについて所見を伺う。



令和6年3月3日に開催された長岡コミセンまつり

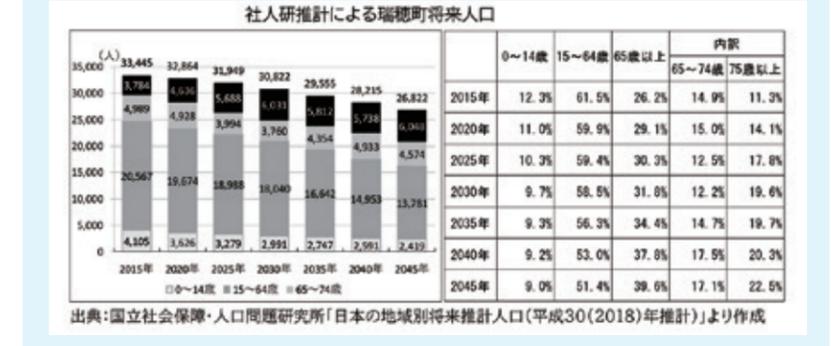
防ぐことも必要で、引き続き研究していく。多世代交流センター「MIZUCL(ミズカール)」は、多世代交流を通じた新たな取り組みの展開を目指していく。地域コミュニティは、時代に合った地縁活動の在り方を模索することが必要であり、既存組織との連携のほか、新しいコミュニティ活動も視点に捉え、活性化に取り組んでいく。  
**町長** 現時点での明確な予定はない。

協議会型住民自治組織・町内会・自治会などの地縁組織を含めた地域の任意団体やNPOなどをつくる組織。



**古宮 郁夫 議員 (自民誠和会)**  
**町の財政、長期展望と  
 運営について**  
**町長 持続可能な稼げる町を目指す**

**町長** 超少子高齢社会の進行に伴う人口減少、生産年齢人口の減少は、同時に町の財政を支える税収に大きな減少をもたらすことが懸念されている。一方、労働、子育て、高齢者介護などの両立が求められる状況は、加速度的に進むと見込まれる。現



瑞穂町 まち・ひと・しごと創生総合戦略における瑞穂町の将来人口推計

**質問** 現在、令和7年度予算編成の作業が行われている。町の財政状況について、物価高の影響や社会情勢を踏まえると、歳入の先行きは不透明である。また、社会保障、公共施設の改修や大規模修繕、自然災害への備え、社会基盤整備など様々な歳出に対応していかねばならない。財源の公平性と地方債にも言及される中で、「金利のある世界」が既に現実となった今、財政の長期展望と運営について、所見を伺う。

下野 義子 議員 (公明党)

### 火山灰の降灰に対する 取り組みを問う



#### 町長 地域防災計画の 次期改定に盛り込む

**質問** 令和2年、国は「大規模噴火時の広域降灰対策について」首都圏における降灰の影響と対策」を発表。都も令和5年に大規模噴火降灰対応指針をまとめ、同6年7月に地域防災計画（火山編）修正方針（案）を明らかにした。南海トラフ地震と連動した富士山の噴火も懸念されている。わが町も火山灰の降灰に対して、国や都の動向に合わせた地域防災計画の見直し、具体的な対策や備え、住民の意識醸成などについて取り組むべきでは。

町長 国が重要な財源を確保した上で実施すべきもの。

**町長** 国のワーキンググループの検討結果を受け、都は今後の地域防災計画（火山編）の修正方針を明らかにし



六道山展望台から撮影した富士山

**質問** 近隣市では、認知症の人が偶発の事故により、他人や他人の持ち物・財産に損害を与え賠償責任が生じたときに補償される賠償保険に、市が団体保険の契約者となって補償する事業を行っている。

町長 認知症の人が損害賠償請求に至る事故を起こす可能性はあり、もしもの場合に備えることで安心して生活できることは望ましい。一方で、認知能力が未熟な子どもや障がいなどで判断能力が低下している人も同様の懸念を抱えている。仮に制度を構築する際には、認知症高齢者のみを対象にするのが適正か慎重に考える必要がある。現段階で認知症高齢者等個人賠償補償事業の導入は考えていないが、今後も情報収集を続ける。

小川 龍美 議員 (公明党)

### 認知症高齢者等個人賠償補償 事業の取り組みを



#### 町長 慎重に考える必要がある

**町長** 認知症の人が損害賠償請求に至る事故を起こす可能性はあり、もしもの場合に備えることで安心して生活できることは望ましい。一方で、認知能力が未熟な子どもや障がいなどで判断能力が低下している人も同様の懸念を抱えている。仮に制度を構築する際には、認知症高齢者のみを対象にするのが適正か慎重に考える必要がある。現段階で認知症高齢者等個人賠償補償事業の導入は考えていないが、今後も情報収集を続ける。

**町長** 国や都に、最も効果の高いシステムの導入促進を働きかけていく。



瑞穂町ふれあいセンターで開催された「おひさまカフェ」(認知症カフェ)

大坪 国広 議員 (日本共産党)

### 有機フッ素化合物(PFAS) の汚染源と対策について



#### 町長 現時点では実施する考えはない

**質問** 発がん性が疑われる「PFAS」による汚染が全国で明らかになり、深刻な事態となっている。町民の命と健康を守る立場から、次の3点について所見を伺う。

**町長** 国が重要な財源を確保した上で実施すべきもの。

**町長** 国が重要な財源を確保した上で実施すべきもの。



消火訓練用模擬飛行機 (横田基地)

**町長** 国が重要な財源を確保した上で実施すべきもの。

**町長** 国が重要な財源を確保した上で実施すべきもの。

森 巨 議員 (自民誠和会)

### 貸付制度と債権管理制度の 導入を



#### 町長 地域課題解決に必要な制度を ともに考えたい

**質問** 少子高齢化、施設の老朽化による諸問題は行政だけではなく、地域の任意団体においても同様に発生している。一例ではあるが、危険箇所の修繕や、コミュニティの継続に必要な老朽化した物品の入れ替えなどに充てる資金の調達に、現行の補助制度だけでは難しい状況にある。したがって、地域の公益的な事業に対しての貸付制度の創設と、それを円滑に執行できる債権管理制度を導入すべきと考えますが所見を伺う。

**町長** 現時点で、町内会連合会からの特段の資金調達についての相談はない。具体的な事業案が発生した際に、制度設計を含め諸課題が

**町長** 現時点で、町内会連合会からの特段の資金調達についての相談はない。具体的な事業案が発生した際に、制度設計を含め諸課題が



地縁団体が管理している傾斜した塀

### ひかり学級の入級と中学校での支援学級設置について



#### 教育長 将来、社会参加でできる力を身につけることを重視

**質問** 令和6年度より、切である。  
第四小学校に自閉症・情緒障がい特別支援学級「ひかり学級」が開設された。児童の保護者から、安心して通わせることができるという声を聞いている。一方で、保護者から不安の声もあることから、次の3点について所見を伺う。

**問②** 就学支援委員会では入級判断で何を重視しているのか。  
**教育長** 将来、社会参加でできる力を身につけることを重視し、専門的な見地から、総合的に判断している。  
**問③** 中学校において支援学級の設置も検討すべきでは。  
**教育長** 自立する資質

能力を養う必要があるため、現時点での設置は考えていない。  
**こんな質問もありました**  
会計年度任用職員公募による再度任用の回数制限廃止を  
**町長** 現時点で廃止すべきではないと考えている。



瑞穂第四小学校

### 高橋 洋子 議員 (自民誠和会)

#### 男女共同参画推進専用窓口の設置と今後の取り組みについて

#### 町長 新たな窓口設置は考えていない



**質問** 少子高齢化に伴う人口構造の変化、生活環境が大きく変わる時代において、性別に関わらず個性と能力を発揮できる職場や学校における児童・生徒への配慮、また、女性の視点を取り入れた地域

防災活動など男女共同参画社会の実現は急務である。地域の活力と魅力を生み出す活動を推進するために、男女共同参画推進専用窓口の設置と「男女共同参画社会推進行動計画」の改定に向けて、現状の課題と今後の取り組みを伺う。  
**町長** 協働推進部協働推進課は、男女共同参画だけでなく、人権、協働、平和、町内会・自治会などの窓口を担っている。男女共同参画推進という表現の範囲を超えて対応している中で新たな窓口の設置は考えていない。  
現在、次期行動計画の策定に向け、現状の課題分析、ヒアリングを実施し、男女共同参画社会推進委員会とともに改定作業を進めている。これまでの枠にとらわれず、男女共同参画社会の推進に取り組んでいく。



令和5年度男女共同参画社会推進委員会講演会(庁舎1階ホール)



### 奥泉 淳広 議員 (日本維新の会)

#### 瑞穂町・羽村市・福生市の合併を



#### 町長 現段階で、合併が必要との住民の声は聞いていない

**質問** 瑞穂町・羽村市・福生市の合併で青梅市約13万人を超える約14万人の自治体となる。首長3人が1人に、議員53人が青梅市24人と同等で29議席を削減、職員も3割削減され、逆に議員報酬と職員給

与レベルは上がる。増税なし、移民受け入れなし、人口減少・少子高齢化に対応可能。DXと併せて明るい未来へ向けた行財政基盤を確立することが可能になる。まずは任意合併協議会の設置を検討すべきと考えるが町長の所見を伺う。  
**町長** 町は現在、都市基盤整備をはじめ各種施策を展開しながら、多摩都市モノレール延伸を契機とした新たな



福生市・羽村市・瑞穂町で構成する福生病院企業団が運営する公立福生病院にて行われた緊急医療救護所設置訓練

西多摩地域広域行政圏…西多摩地域8市町村で構成され、西多摩地域の一体的な整備と住民の福祉増進を図るため、各種事業を実施している。

**町長** 他自治体で、子供の声による放送を行っていることは承知しており、子どもたちの声の流れることに



瑞穂中学校の放送室

### 井上 一也 議員 (もっと瑞穂に笑顔)

#### 子どもたちの力を借り、防災行政無線の活用を



#### 町長 教育委員会、各学校とも相談したい

**質問** わが町では、防災行政無線設備を完備し、防災関連の放送だけでなく、子どもたちの見守りや、夕方のチャイム放送などにも利用をしている。この放送は、個人の情報端末機器の有無に関係なく、音声情報として、町にいる誰もが聴くことができる。そこで、放送する内容に子どもたちの声や力を借り、町の隅々まで情報が伝わる防災行政無線の活用をすることで、もっと優しさや笑顔がふれる町にしてはどうか。所見を伺う。

**町長** 緊急で対応すべきものと計画的に対応せざるを得ないものを総合的に勘案して優先度を決めていく。通報を受け危険と判断された場合は速やかに対応する。

## 6陳情第9号

### 臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

【陳情者】 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章

#### 【陳情の趣旨】

国際社会と足並みを揃え、臓器移植に関わる不正な臓器取引、移植目的の渡航などを防止するための法整備と適切な臓器移植が行われる必要性についての啓発を求める意見書を国に提出してほしい。

#### 厚生文教委員会で審査

##### 【議員間討議での主な意見】

非人道性が疑われる国として中国などを暗に示している。人道的な見地からは陳情の趣旨は理解できるが、国際問題に関わる内容ではないか。

日本の死体ドナーは人口100万人に対して0.6人で、アメリカの68分の1、韓国の14分の1である。圧倒的にドナーが少ない。

国内では、現在、厚生労働省の臓器移植委員会が改革案を審議している段階で、継続して状況を把握してから判断するべきではないか。

※全ての陳情の詳細はHPでご覧になれます。



委員会での審査結果は**継続審査**となり、その後、本会議で**継続審査**が議決されました。

## 議員研修会

### 予算特別委員会へ向けて

#### 早稲田大学マニフェスト研究所 中村 健 氏を迎えて

令和6年度、町議会では早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村 健 氏を講師に迎え、定期的に議員研修会を実施しています。11月28日には、「決算特別委員会の振り返りと予算特別委員会へ向けて」と題し、2回目の議員研修会を開催しました。町議会では数年前から予算および決算特別委員会において、予算の計上および執行が適正かつ効率的であるかを議員間で話し合う必要があることから「議員間討議」を取り入れています。

毎年9月定例会で行われる決算審査では、町が執行した計画、政策、施策、事務事業の評価（議会の評価）を行い、その結果を町長などに示して予算に反映されるようにしています。今回の研修では決算審査を振り返りながら、3月の予算特別委員会に向けて議員間討議の精度をさらに高めることを目標に実施しました。



大和 雅彦 議員（自民誠和会）

### 被災者支援システムの必要性と導入について



#### 町長 共同利用している都のシステムを活用していく

**質問** 今年の能登半島地震において、被災者台帳を作成するための情報収集に多くの時間を費やした。被災者支援システムを活用すると、被災者の生活再建に向けて必要となる膨大な行政事務を効率的に行え、一元管理ができる。また、スムーズな罹災証明などの発行手続きになると考える。大規模な災害時に備えて、導入すべきと考えるが、所見を伺う。

**町長** 東京都では国に先行して「東京都被災者生活再建支援システム」を導入している。瑞穂町を含めた35市町村がすでに共同利用しており、事務処理の迅速化並びに生活再建支援の迅速化を図ること

を目的としている。本システムは「今後、平時から発災時・復旧期までの全ての段階における被災者支援業務を網羅できるよう改善されるべき」とされており、このシステムを最大限に活用して、被災者生活再建支援を行っていく。



り災証明申請書と発行窓口である税務課

香取 幸子 議員（自民誠和会）

### タブレット端末の活用について



教育長 今後もICT環境整備に努めていく

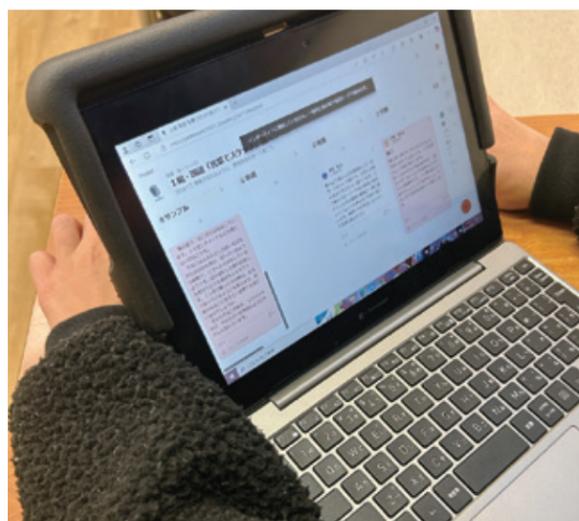


**質問** 小・中学生に1人1台のタブレット端末が用意され、多様性への対応や教育の質の向上が期待できる環境が整いつつある。今後、有効活用するために毎日使用し、タブレットに慣れることが必要

であり、自宅への持ち帰りを推奨すべきと考える。また、学習支援アプリやデジタルドリルを家庭学習に活用することで置き勉を容認し、子どもの負担を軽減している自治体もある。それらを含めた瑞穂町の現状と課題、今後の方針について伺う。

**教育長** 各学校ではタブレットを持ち帰り、AI型ドリルでの復習、夏休みの宿題、家族向け学校行事のプレゼンテーションを行うなど

の活用場面が増えていく。全校で年間2回の持ち帰り週を設けた。今後の課題として、家庭学習が進められるよう保護者の理解、協力を得ることが必要となる。置き勉については、通学上の負担などを考慮し、判断していきたい。タブレットの更新時に導入する学習支援アプリやドリルについて、各学校から意見を集約している。今後もICT環境の整備に努めていく。



小学生が使用しているタブレット

第3期

# 議会モニターを募集します



## 議会モニターの主な役割

- ▶ 議会が行う傍聴が可能な各種会議（本会議、委員会など）を可能な範囲で傍聴し、会議に関する意見を述べる事ができます。
- ▶ 瑞穂町議会だより「ギカイのひろば」・瑞穂町議会ホームページに関する意見を述べる事ができます。
- ▶ 委員会などから要請があった場合、会議に出席し、求めに応じて意見を述べる事ができます。

## 応募資格 次のすべてに当てはまる方

- ・ 町内に在住、または在勤する18歳以上の方
- ・ 前向きで建設的な話し合いに協力できる方
- ・ 国または地方公共団体の議員（元議員を含む）や、常勤の公務員でない方

## 募集人員 7名以内 ※再任は妨げません。

任期 令和7年4月1日より令和8年3月31日

謝礼 議会モニターは無償となります。

### 応募締切

令和7年3月10日(月)まで (必着)

### 申込み・問合せ先

議会事務局議事係 ☎557-7693

# 視察報告

★令和6年8月6日～7日

## 交通対策特別委員会

### 茨城県高萩市『MyRideのるる』と『デマンド型乗合タクシー』について AIを活用したコミバスで利便性向上

高萩市では、乗降客の多い朝と夕方から夜は民間事業者の定時定路線バス、日中は人工知能（AI）を利用して、利用者からのリクエストに合わせてバスの運行経路とダイヤを最適化して運行されるコミバス「MyRideのるる」に切り替えた結果、利便性が向上した。また、デマンド型乗合タクシーは年齢制限なしで誰でも登録し乗車でき、自宅から目的地まで電話予約で利用できる。利用料金は、「のるる」が1乗車大人300円、小人150円で、市内在住高齢者や通学者に対する運賃補助制度もある。また、デマンド型乗合タクシーは1乗車当たり400円。全体の経費は年間5,400

万円である。

瑞穂町で高萩市のようなAIを活用した中型バスを走らせるには道路整備などの課題も見えた。しかし、市が実施している高齢者・通学者割引、高齢者へのスマホ購入費助成、さまざまな場所で実施した登録や利用方法の説明会など、公共交通利用促進の幅広い支援の在り方は大変参考となった。



MyRideのるる

茨城県那珂市  
その他視察先  
デマンド交通『ひまわりタクシー』の運用について

- ◎委員長 ○副委員長  
◎香取 幸子 ○下澤 章夫  
下野 義子 原 隆夫 古宮 郁夫  
大和 雅彦 川島 靖弘 山崎 栄 (議長)

# 議員定数について議論

## 議員政策研究会へ依頼

議会運営委員会において「議員定数16に対して令和3年から1人欠員の状態が継続しており、町民からも議員定数に関する指摘があった。議員定数に満たない状況に対応することを検討する必要があるのではないか」との意見がありました。

それを受け、議会運営委員会では議員定数に関する議論が始まりました。その後、広く議員の意見を聴取することが必要とのことから、議員政策研究会に依頼しました。

議員政策研究会では、議長を除く全議員が意見を出し合い、論点整理しながら意見をまとめ、議長へ報告書が提出されました。



令和7年1月24日に開催した議員政策研究会

# 視察報告

★令和6年10月16日～17日

## 基地対策特別委員会

### 石川県小松市 基地周辺対策と軍民共用飛行場の実態について 補助対象として考えられるものをメニュー化

小松飛行場は、航空自衛隊小松基地と民間航空が滑走路を共有する飛行場である。小松基地は、国籍不明機の警戒にあたっており、F-15戦闘機の騒音の大きさは横田基地とは比べものにならないほど激しく、飛行回数も多い。市内には、騒音区域に所在する町内会長（105町）で構成する協議会があり、住民の意見や要望を伝える役割を担っていた。

告示後住宅の防音工事については、来年度配備されるF-35Aの影響も勘案して、令和8年度には第一種区域の見直しや、防音工事の対象拡大も図られる予定である。横田基地もオスプレイが配備され、騒音だけでなく振動被害も加わっており、住宅防音工事などの配慮を手厚くすべきではないだろうか。

また、防衛省などの補助金については、昭和35

年（小松基地開設）から令和5年度までに合わせて153件、1,814億円の交付実績があり、ハード事業のほか、教育・文化・スポーツなどのソフト事業でも多様な活用がなされていた。特に、補助対象として考えられるものが補助金・交付金活用表としてメニュー化されている点は町も参考にすべきだと感じた。



小松飛行場での現地視察

- ◎委員長 ○副委員長  
◎小川 龍美 ○大坪 国広  
森 巨 榎本 義輝 井上 一也  
奥泉 淳広 高橋 洋子 山崎 栄 (議長)

## 世界への扉を開け「ファイト！」

令和6年11月2日、瑞穂第一小学校の体育館にリングが設置されました。青少年育成事業や障がい者支援を行うB-boxが開催したイベントで、子どもたちに本物を体験してほしいとリングを設置したそうです。この団体の代表がー小、瑞中を卒業した元プロボクサーの村松 竜二さん。事故で左手首が曲がらない障がいを負ってからもボクシングを続け、日本ランキング1位になりました。現在は、視覚障がいの方でも行えるブラインドボクシング®協会の代表を務め、パラリンピック競技にするための活動もされています。世界への扉を開くため、村松さんの心は熱く燃えています。



村松 竜二さん (B-box代表理事・  
ブラインドボクシング®協会代表理事)



一小で行われたイベント終了後の集合写真

### 次回 3月定例会 (予定)

2月28日～3月24日

日	月	火	水	木	金	土
9	10	11	12	13	14	15
2月		建国記念の日			請願、陳情の 受付締め切り日	
16	17	18	19	20	21	22
			議会運営委員会			
23	24	25	26	27	28	1
天皇誕生日	振替休日				本会議 (一般質問)	3月
2	3	4	5	6	7	8
	本会議 (一般質問・議案審議)	本会議 (一般質問・議案審議)		総務産業建設委員会	厚生文教委員会 広報広聴委員会	
9	10	11	12	13	14	15
		予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会		
16	17	18	19	20	21	22
	予算特別委員会 (議員間討議)		議会運営委員会	春分の日		
23	24	25	26	27	28	29
	本会議 (議案審議)					

■本会議、委員会の開始時刻は午前9時30分からです。なお、広報広聴委員会および3月19日の議会運営委員会の開始時刻は午後1時30分からになります。上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴に来られる際は、お電話または、ホームページで日程をご確認のうえご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

### 編集後記



本年度行われた出初式

1月12日、瑞穂町消防団の出初式が挙行されました。5色の放水は、お正月のめでたさを表すにふさわしい光景でした。

昨年の出初式は、この色付きの放水は行われませんでした。それは元日に起きた能登半島地震のためです。災害がない1年であってほしいと思いますが、災害はいつ発生するかわかりません。

災害が発生した際に、ご自身やご家族を守るためにも、防災備蓄品などを日頃から用意するよう心掛けましょう。そのような準備が取り越し苦労となる1年であってほしいと思います。

文：川島 靖弘

広報広聴委員会 広報部会員

小川 龍美 大坪 国広  
原 隆夫 香取 幸子  
大和 雅彦 高橋 洋子  
川島 靖弘



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335  
TEL/042-557-7693 (直通) FAX/042-557-4433  
✉ gikai@town.mizuho.tokyo.jp